

Ⅱ. 豊川市の人口ビジョン

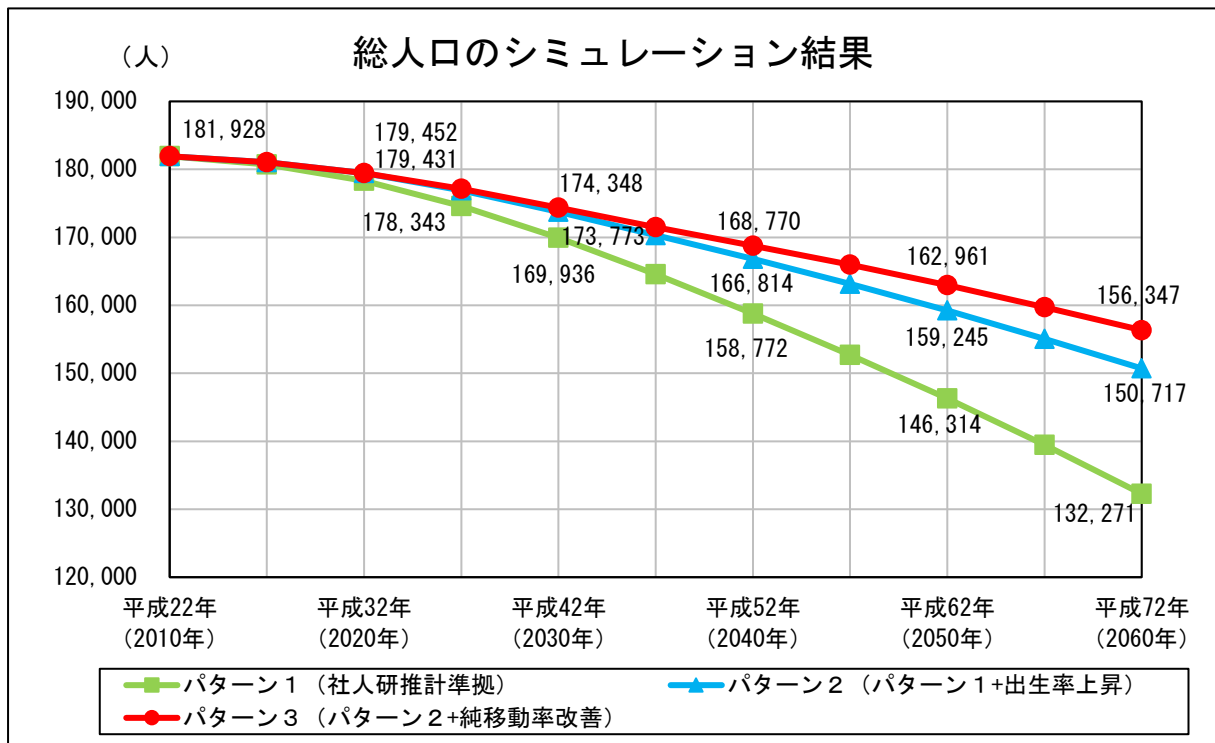
（1）将来の総人口に関するシミュレーション

本市の長期的なビジョンを明確にするため、将来の総人口について次の3つのパターンによりシミュレーションを行います。

- ・パターン1：社人研の推計（出生中位、死亡中位）に準拠
- ・パターン2：パターン1において合計特殊出生率が平成52（2040）年までに人口置換水準（※）の2.07まで上昇すると仮定
- ・パターン3：パターン1において合計特殊出生率が平成52（2040）年までに人口置換水準の2.07まで上昇し、かつ純移動率（社会動態）が平成52（2040）年までに改善（0から44歳の純移動率のうち、マイナスとなっているものをゼロに）すると仮定

※人口置換水準：人口規模が長期的に維持される水準

図表5



※シミュレーションについては国提供のワークシートを使用し作成。

パターン1に対し、出生率が上昇（パターン2）することで平成72（2060）年の人口は約1万8千人増加し、純移動率（社会動態）が改善（パターン3）することでさらに約6千人増加します。